



(一財)自治体国際化協会ロンドン事務所
第47回オンラインセミナー

幸福度世界一のフィンランドを 支える公共福祉サービスの あり方とは

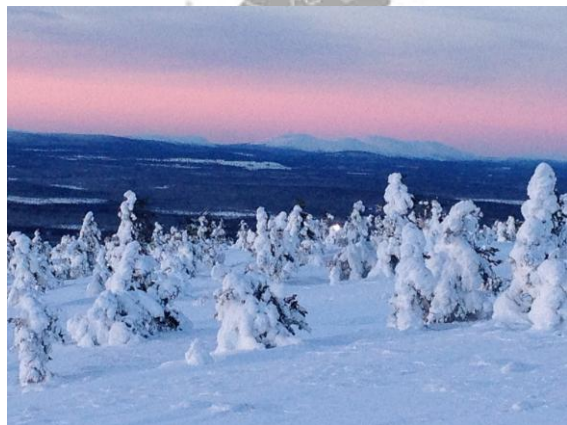
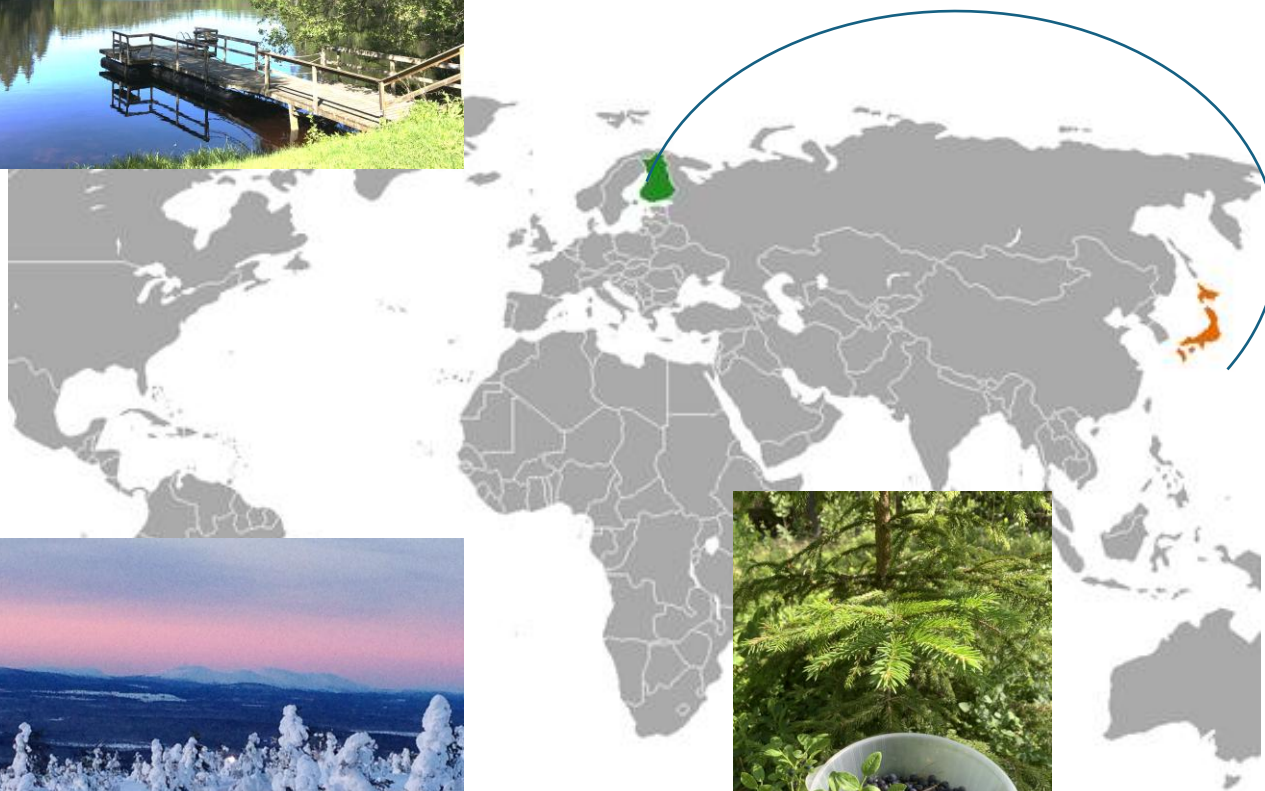
～個を尊重する政策とビジョンの実践を
教育現場から考える～

©ヒルトウネン 久美子 KH Japan Management Oy





自己紹介 ヒルトウネン 久美子



- 全日空、フィンランド航空を経てフィンランド在住33年
- 2003年に起業
- 教育と福祉の分野で両国をつなぐプロジェクトコーディネーター、視察/研修プログラム、通訳業務
- ミッション

「異なる”個”が尊重され、全ての人に居場所のある社会作りに貢献したい」

今日のお話

①フィンランドという国

(歴史背景と個を尊重する価値観の誕生)

②小国フィンランドを支える公共福祉と平等の価値観の共有

③教育は全ての基盤という意識の共有

④行政、自治体、産業界、市民、**皆が参加し**作り上げる社会の理想と現実の問題

→ **全ての人に居場所のある社会を作る**





①フィンランド共和国について

女性の社会進出

* 面積(約33万8000km)、人口約560万人

* 独立1917年



* 資源の乏しい国 ~ 国民が財産

* 公営保健センター／**ネウボラ**

* **無料の教育**(大学院まで)

* (林業)、ハイテク・電子産業(医療、**気象、電気**)
ICT、ゲーム、バイオ技術、、、、
スタートアップ企業、グリーン経済



* ヨーロッパで初めての女性参政権
(1906年)

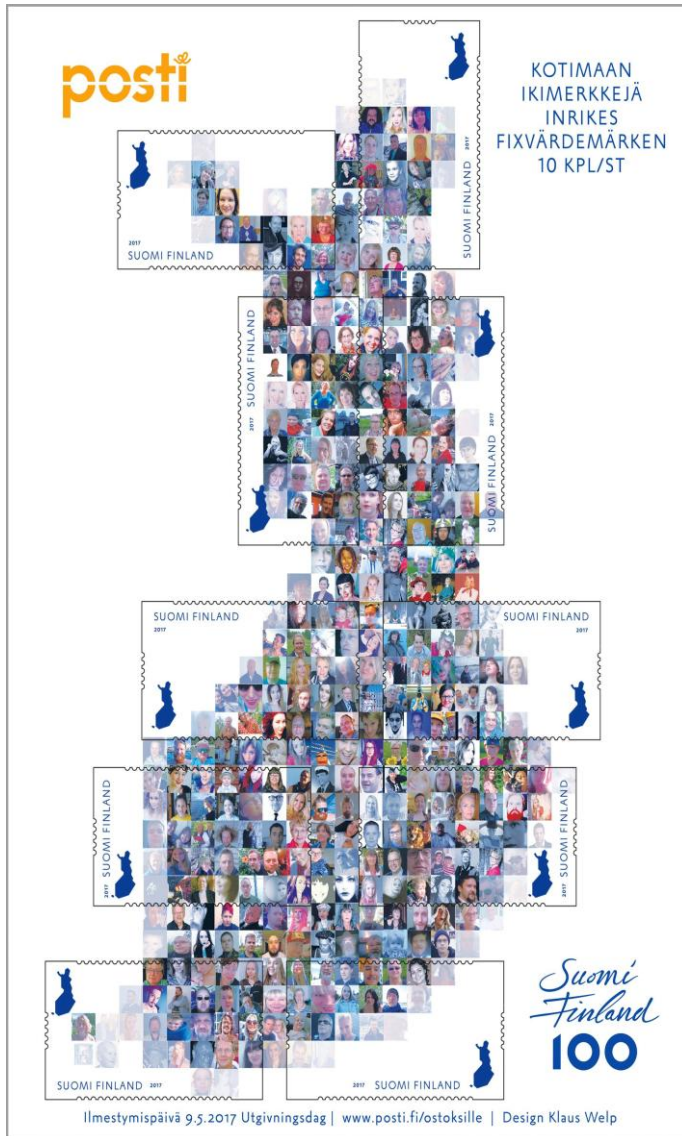


* **共稼ぎが一般的**

* **高齢化**(平均寿命82,24 歳)

独立100年(2017年) ★ 国のビジョンを共有 ★

Yhdessä (みんな一緒に) !



Suomalaisen koulutusjärjestelmän visio
– *Menestys tehdään*

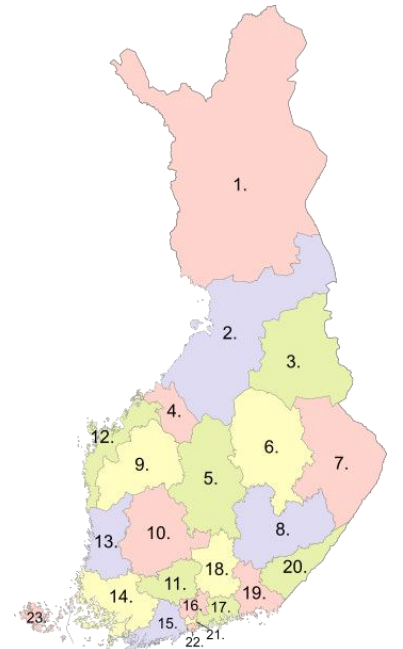


Sivistystyönantajat



②小国フィンランドを支える公共福祉と平等の価値観も共有する国民性！！

- 北欧型福祉国家（北欧5カ国）：高福祉・高負担。全ての国民が平等に国による福祉サービスを受けることができる（保育、教育、医療、介護、、）
 - 。。財源は税金（所得税収入の30-40%、社会保険料8-9%、消費税25.5%）
- 原則として自治体による提供（国籍に関係なく）
- 医療・介護福祉は現在Wellbeing service countiesによる

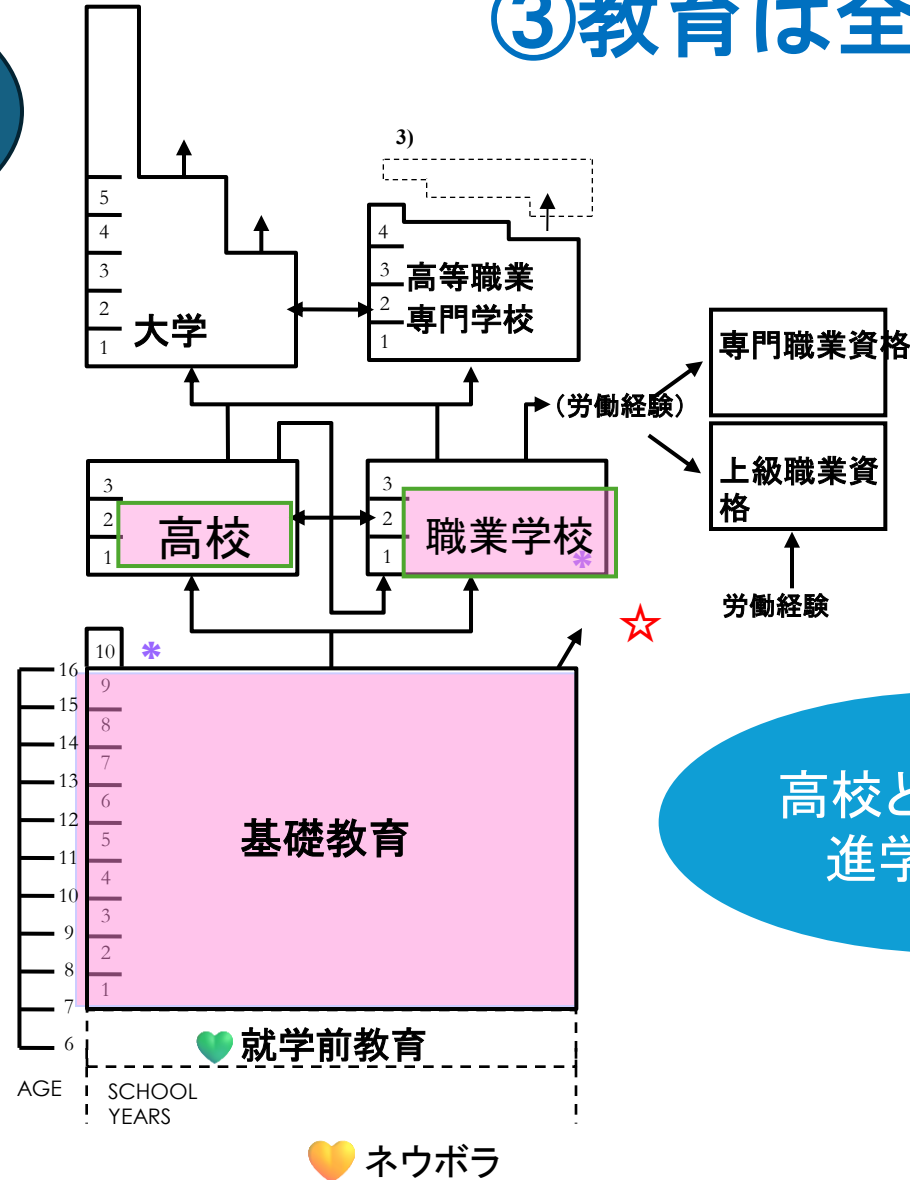


③教育は全ての基盤という意識の共有

教育は大学院
まで無償

義務教育は
18歳まで

義務教育



私立校がない！
★ 公共教育の責任感

小学校：クラス担任制
中学校以降：教科担任制
高校：75単位以上取得し卒業
+大学入試資格試験

高校と職業学校
進学は半々

それぞれの
道
私の人生

Inhimisen elämän kurti

自分を知り、自己決定が
できる、必要な助けを得
る権利がある社会

= 幸福度につながる



私の人生曲線

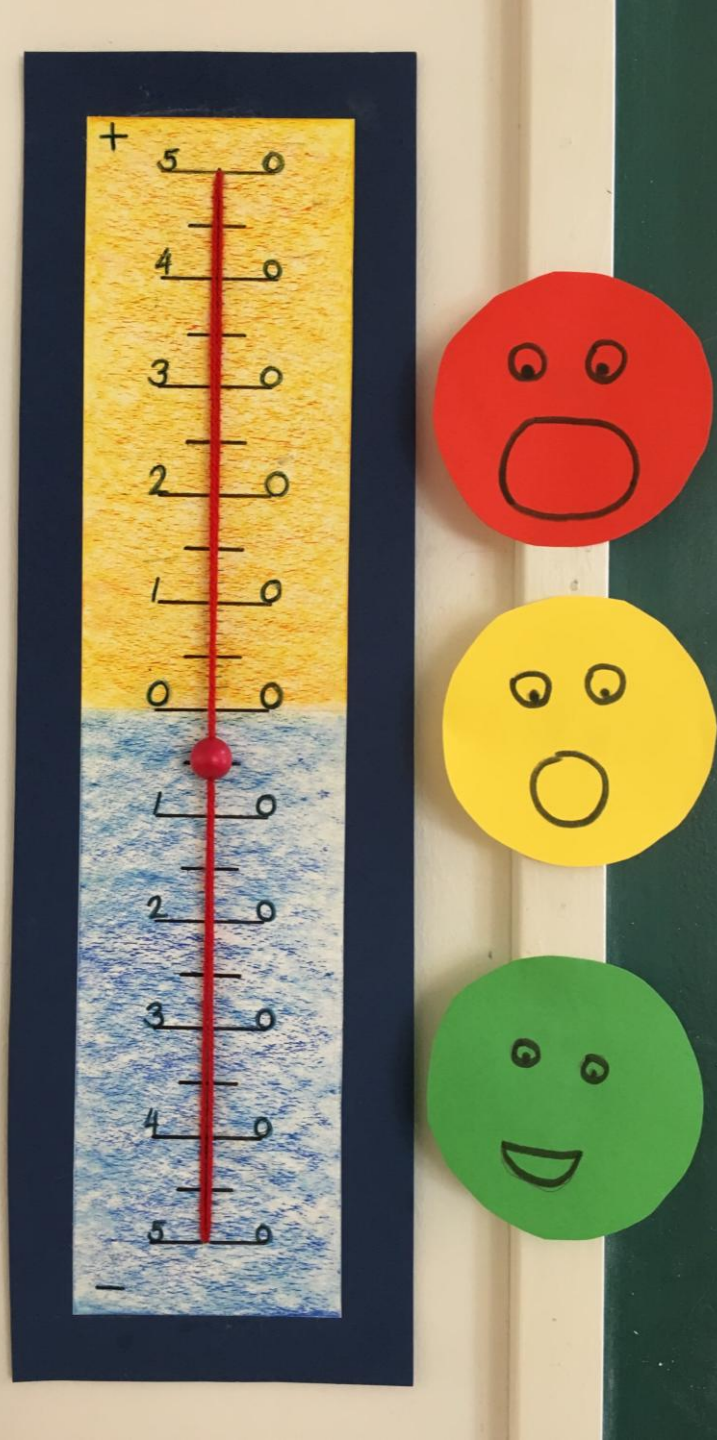
保育から始まる 「個の尊重」 と 「自分を知ること」

”みんな違ってみんないい！”

＊ 小グループ活動

＊ 異なる個で構成される私たちの
グループという意識





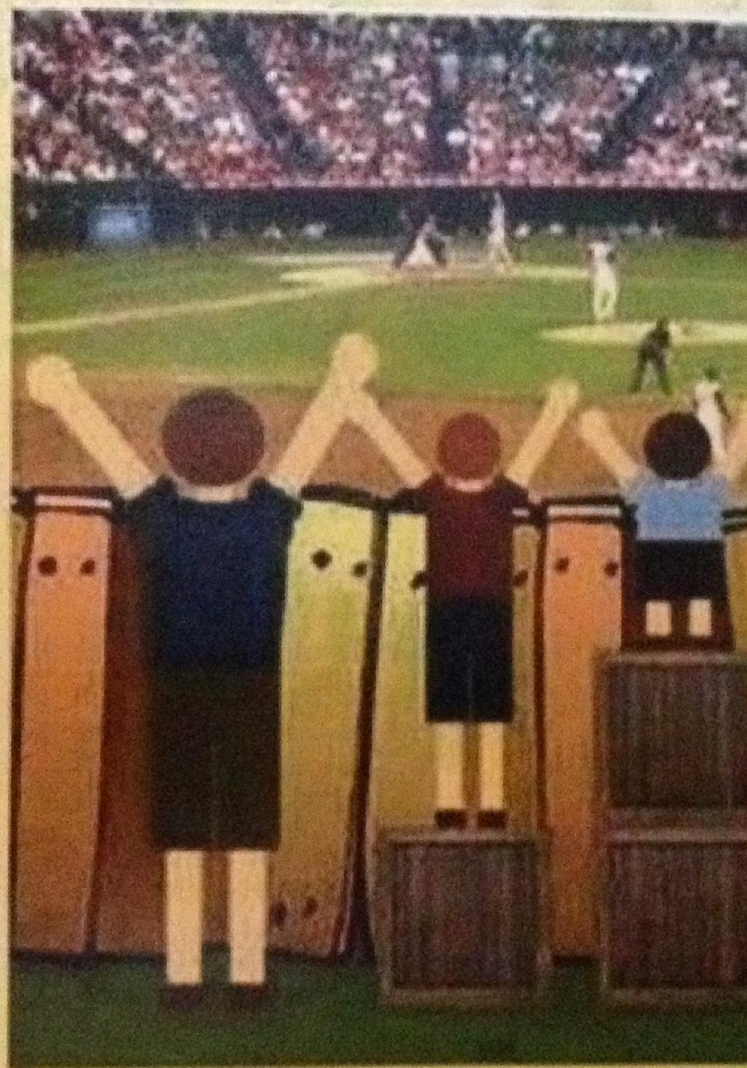
小学校に入ると？



Equality doesn't mean Justice



Equality



Justice

違うことが基本

「平等」Equality
より

「公正/公平」
Justice/Equity
の意識



小学校から：
「学び手としての自分」を知る
～何のために学ぶかを理解～

学びの環境

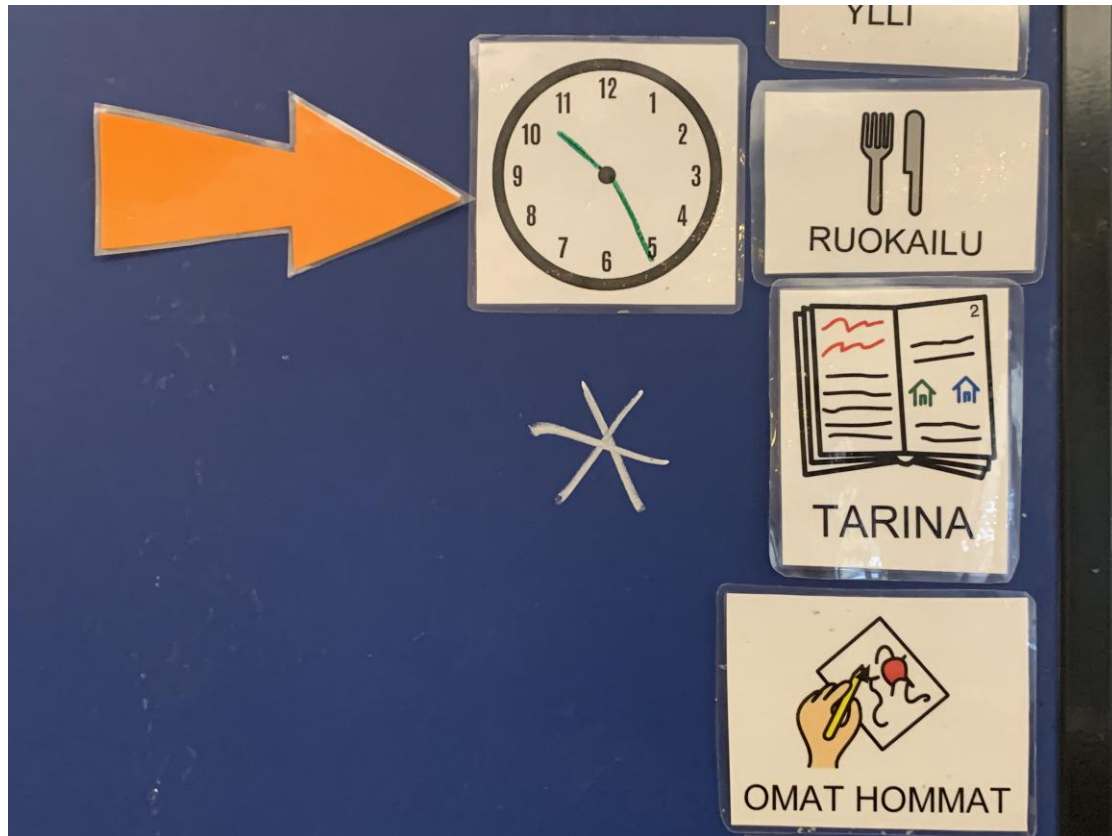
自分の学び方
を見つける

生涯学習へ
の道



少人数特別支援クラス/インクルーシブ & 特別支援学校の選択

サポートを受けながらも
自己決定



学校法で義務つけられた”生徒福祉サービス”の存在

- 校長
- スクールサイコロジスト
- スクールカウンセラー
- 保健師
- 特別支援教諭
- クラス担任、アシスタント

一人一人のニーズを
把握支援
外部専門家との協力も

スクールコーチ

助けを受けて
成長する

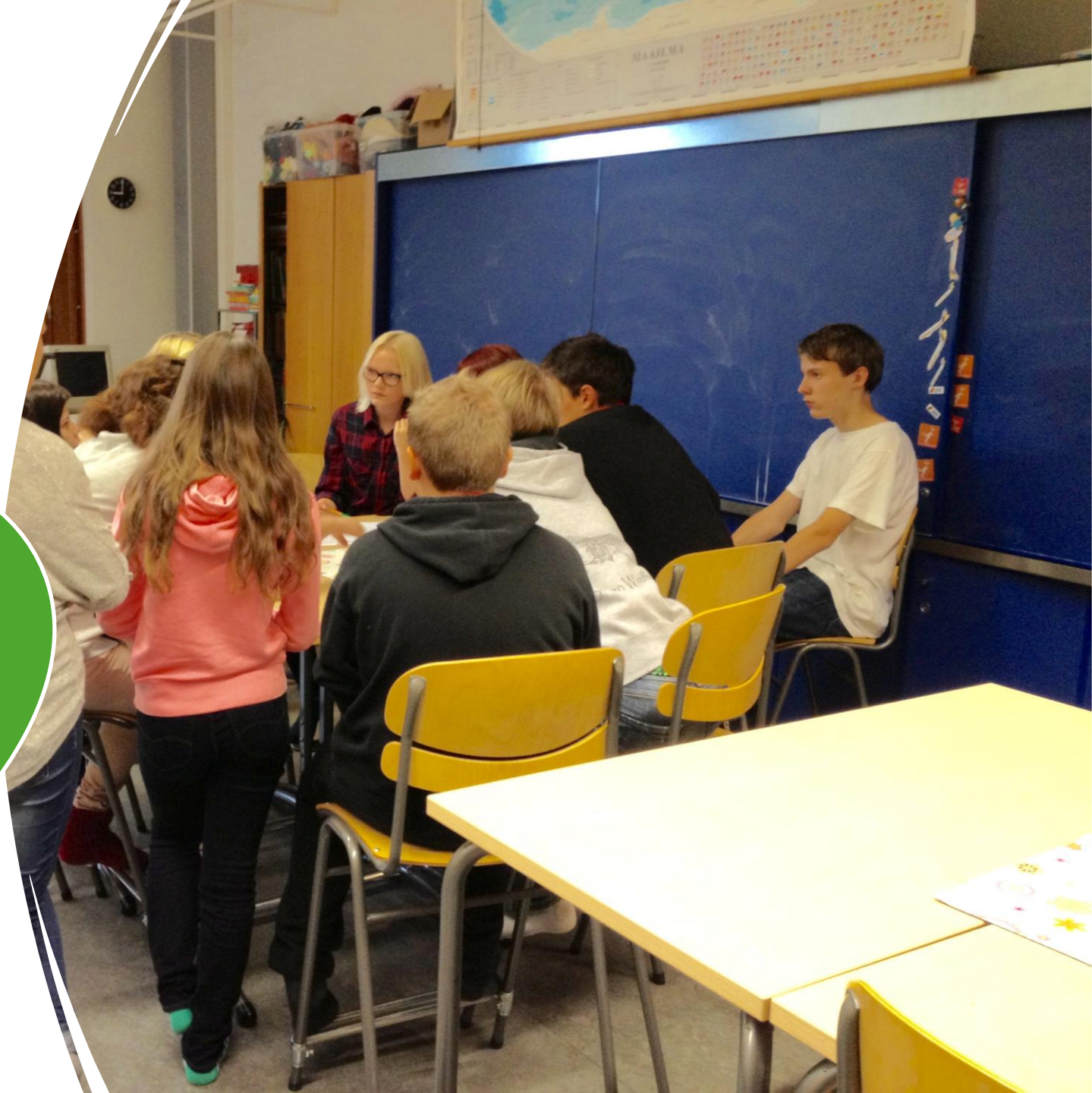
⇒自己責任

中学校では？

自ら作る学びと成長環境

自己責任：

「影響を与えることができる」ことを学ぶ





自主的活動 の推進

- サポートスチューデント制度
- 揉め事仲裁係
- 生徒会、、などなど

★ 青年議会

一般高校生による国政選挙、各政党 代表へのインタビューイベント



戦争につ
いて
/NATO

勉強ストレスと
メンタル

環境問題と
未来への不安

学校給食

地元の
遊び場

青年議会

- * 98%の自治体に存在
- * 13～18歳の若者
- * 任期:通常1年
- * 地元の若者の生活環境に影響を与える



『社会/地域を変えられる!』

⇒ ”自分たちの責任” 社会の一員として

kerava
NUVA
VAALIT

2 Vinski Lång, 13v
"Käsi äänestää?
Musiikki on elämäni"
Järvenpää

3 Auliikka Pajari, 16v
"Känteille valtaa
vaikuttaa"
Kouvola

4 Alif Ahmed, 15v
"Kerava is my city"
Järvenpää

5 Milja Marja, 15v
"Uusi näkemys - uusi
mahdollisuus"
Siunio

6 Verner Häuske, 14v
"Ajat muuttavat ja me
muutamme niiden mukana"
Järvenpää

7 Eino Mäkelä, 14v
"Osa Keravalle"
Järvenpää

8 Viivi Lehtonen, 13v
"Yhtä valtaa"
Kouvola

9 Heleni Poutanen, 13v
"Heini heini hommaa
önsi arvostaa"
Siunio

10 Rasmus Laurila, 16v
"Tuntemuksi on olemassa"
Kerava luki

11 Petrusella Puro, 13v
"Paras valinta
porepoika Keravassa"
Siunio

Äänestyspaikat ja -ajat
Ma 13.11. - klo 9.00 - 12.00
Kerava luki
Kouvola 5
Ma 13.11. - klo 12.00 - 14.00
Kouvola 3
Ti 14.11. - klo 9.00 - 15.00
Siunio luki
Alfons Kiven tie 18
Ti 14.11. - klo 17.00 - 20.00
Kerava luki
Kerava luki 5
Ke 15.11. - klo 9.00 - 14.00
Kerava luki
Järvenpää 5
Ke 15.11. - klo 17.00 - 21.00
Kerava luki
Kerava luki 7
To 16.11. - klo 11.45 - 15.00
Kerava luki
Kerava luki 12
Pe 17.11. - klo 18.00 - 19.00
Kerava luki
Kerava luki 1

Kerava Nuorisovaltuusto keravamuva Kerava NUVA keravamuva





教育は社会と リンクしている！

★ Yrityskyläビジネスビレッジ

職業、経済、起業家精神、社会の
成り立ちを学ぶ

* 6、9年生が参加

* 行政、自治体、産業界が一
体となった学びの環境

(教育省、大学、企業など)



* (出典) 10.07.2026 /Uutinen, Vuosi yrittäjänä, Uskalla Yrittääより
Shroomies NYT, Etu-Töölön lukio (プロテイン豊富なキノコ食) & Vaara Coaching NYT Jyväskylän yliopisto(ウェルビーイングを意識したコーチング会社)

スタートアップコンテスト in ラトビア July 2026

スタートアップ支援 (昔からの個人事業主文化が土台)



高校 と 職業学校





OMNIA

Do what you love

職業学校

基礎資格(180単位)

- 芸術(音楽、演劇、ダンス、サーカス、職人、)
 - ビジネス
 - 自然科学(自然、環境、、)
 - 情報管理(ICT)
 - 技術(建築、機械、電気、エネルギー、)
 - サービス(レストラン、ホテル、レストラン、旅行、観光、、)
 - 社会福祉、ウェルビーイング、ユースアクティビティ
 - ゲーム、メディア
- など、トータル160種類の職業資格



大学とは
研究機関



ユースセンター
&
不登校と若者探せプロジェクト



学校外にも**助けはある！**

充実した**公共**福祉サ
ービスとしての
保育、教育、医療、
介護支援

起業家育成
支援

全ての人に居場所の
ある社会

ネウボラ

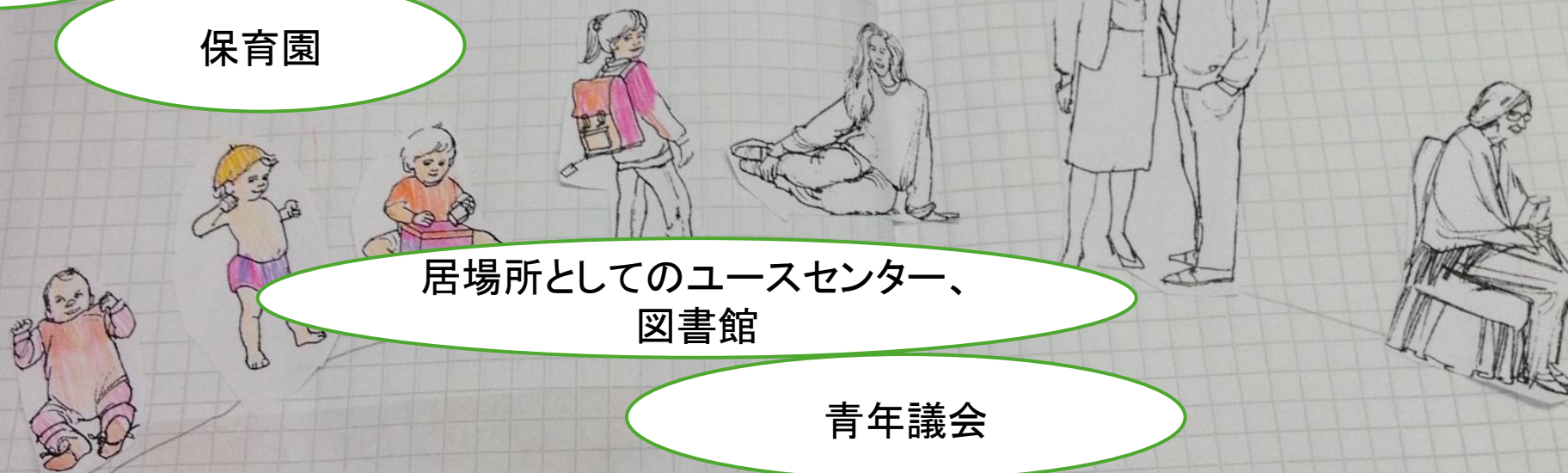
子育て支援

個のニーズに沿った
学校教育

保育園

居場所としてのユースセンター、
図書館

青年議会



④行政、自治体、産業界、市民、皆が参加し作り上げる社会

財政難による
公共福祉、国の責任の弱体化

利益追求の
ビジネスモデルとの戦い

全ての人への
サービス
補償が不可
能に

医療は優先
順位など不
平等が

公共福祉サービ
スとしての
保育、教育、医
療、介護支援



保育、医療、介護部
門での民間参入

イノベーティブな
アイデア、スタートア
ップ企業への期待



行政、自治体、産業界、市民、皆が参加し作り上げる社会
が危うい？



🌲 全ての人に居場所のある社会 🌲

- * 異なる個が尊重され
- * 自らの人生曲線を生きることができる

一人一人が参加し影響を
与える環境作りが大切

ご清聴ありがとうございました。

Kiitosキートス!

